



原田 健志

教育の将来と現状

問 学校教育検討委員会の答申を受け、教育委員の会議の現審議段階は。

答 答申内容を教育委員会において審議し、委員会としての方向性を示していく。現段階においては検討中である。答申内容より具体化した基本方針というものが出されるべきものと認識している。

問 教育委員会の検討に関して年内に、何らかの答えを出すとの発言が町長からあったが。

答 検討の時期に関しては事務局も、首長の要望として、年内という時期を教育委員会の方に伝えていくべきとの認識でいる。
問 学校教育は一年一年が大切で、方針決定までのスピードも必要であるが、決定から実行に至る過程の対応も大切だと思いが。

- 一、教育の将来と現状について
- 二、消防組織の将来像について
- 三、安全で安心な町づくりについて

消防・防災組織の将来像

問 災害の多様化する中で消防・防災組織の現状について考えを伺う。

答 災害時には、消防団はもとより地域住民並びに防災関係機関との連携により総力をあげ対応することが重要と考えている。消防団運営については、今後も消防団側の考えを尊重し、十分協議をし、方向性を見出し、いきたいと考えている。

問 消防の広域化については平成十九年度に大阪府消防広域化推進計画が策定、広域対象市町村の枠組み案が示された。これを受けて、平成二十年八月に北摂七市三町による大阪北部ブロック消防広域化検討会が設置、検討され、近日中に報告を受ける事となっている。

問 消防組織の強化として、事業所分団・機能別消防団・女性消防団・OB消防団などに取り組まれている地域もあると聞かすが、能勢町において組織化等の

考えは。

答 必要な場面があれば、考える余地があるとは考えるが、地域みんなで災害時には参画・協働していただいている能勢町の現状を見ると、組織化については今のところ考えておりません。

問 学校教育の場において消防団活動等、自分達の町は自分達で守るといったことは学習する機会があるか。

答 授業の詳細内容は調査していないが「わたしたちののせ」という副読本を使い、消防団の活動について学習する機会を設けている。

安心安全のまちづくり
問 黄色いハンカチ事業のメール配信等の現状は。

答 しあわせ守り隊登録は二六三名、メール登録は一八四名である。メール配信内容は、中身について調整精査して、よりの確な注意喚起する情報の発信に努めたいと思う。

一般質問



岡本 ひとし

第45回衆議院選挙結果について首長としての認識について

問 今回の選挙結果について首長の感想を伺う。

答 現在の経済状況、雇用環境の悪化に加え、年金をはじめとする社会保障制度の不安に対する現状打開への期待と受け止めている。健全な民主主義による政権交代が自分ができることの実証できたことが政治への関心が上がったことが評価できる。今後の緊迫した国会運営に期待する。

問 毎マニフェスト選挙といわれているが各政党のマニフェストの中身は読まれたか。

答 政党マニフェストは一読した。本町に関係する問題にはしっかりと目を通しました。

- 一、第45回衆議院選挙結果について首長としての認識について
- 二、B&G海洋センターの利活用について

問 大阪府町村会の中で最低の投票率(66.88%)について感想は。

答 全国の政党(保守層)に対する評価も含めた風が悪いという感じであったと思われる。そういうところから投票率に影響したのではないか。

指摘 政党に対する評価ではなく、投票しやすい環境づくりが必要だと思われる。(投票所の設置箇所・期日前投票所等の改善が必要と思われる)

B&G海洋センターの利活用について
問 料金改定後の利用者の推移について伺う。

答 施設利用者の減少傾向があり、住民ニーズにあったものを模索する必要があると考える。
問 料金の改定後の利用者は町内小中学校の施設(利

用料なし)への利用に推移しているのではないか。

答 そういう影響等もあると判断している。

問 下料金改定(減額)の試行期間を実施してみようか。

答 設定金額は高いと理解していない。現段階では料金改定を見直す考えは持っていない。

